

8/9（金）～8/10（土） サイエンスカフェに参加しました。

1日目



初日は、TWInsで働く研究者や教授から、研究内容についての講義を受けました。講義を聞いて、私は、今まで医療機器を開発することだけが大切だと思っていたけれど、医療機器の安全性や、効果を確かめる機器もそれと同じくらい大切であることを知り、お医者さんのバックには、本当にたくさんの人が関わっていることを改めて知り、勉強になりました。

1日目 夜 懇親会

懇親会では、料理がとってもおいしくて、全国から来た高校生達とおしゃべりするのが楽しかったです。また、高校生達による、高校や地域の紹介も面白く、有意義な時間を過ごせました。

2日目 午前 施設見学

施設見学では、特に最新技術を、搭載した手術室を見学したことが、印象に残っています。患者さんの体内の様子を3D化したり、空中で手を動かして、CT画像の写真を操作したりと、実際に医者になって使いこなしたらカッコいいんだろうなぁと思いました。

2日目 午後 実習

実習は、縫合体験、超音波診断装置の操作体験、簡易型人工心臓の作成、細胞シートの操作体験を行いました。

縫合体験

実際に使われている手術着や針、それを扱うハサミなどを使って、傷口の模倣品を縫いました。糸の取り出し方から糸の結び方まで丁寧に教えてくださったおかげで、時間はかかりながらも結ぶことができ楽しい経験になりました。ハサミの力の入れ方が意外と難しかったです。

超音波診断装置の操作体験

段ボール箱の中に中身が見えないように隠されている容器にエコーをあて、写った映像からそれがどんな形かを当てる、ゲームのような体験をしました。グループの子達と話し合いながら無事に見れたときは、お互いに達成感を感じられてとても良かったです。その後改めてエコーを行い、きれいに映る角度から撮った写真をもらいました。

簡易型人工心臓の作成

実際に使われていた人工心臓の構造を、簡単にしたとはいえ、身近なもので作ることができると知ってとても驚きました。作ったあと、実際に水を通して循環を行ってみると、作りが甘かったところから水が漏れてしまったけれど、僅かに水が送られたのを見て感銘を受けました。

細胞シートの操作体験

以前からあるタンパク質分解酵素によって行われる細胞の剥離と温度応答性培養皿での細胞の剥離の両方を実際に体験したことで、開発された培養皿の利便性を鮮明に感じられました。また剥がした細胞シートを貼るまでの工程で何度も崩れてしまい、取り扱いの難しさも感じました。